



野農建第 580 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

野尻町長 長瀬 道太



今後の道路行政についての意見・提案について

このことについて、別紙のとおり提出します。

(文書取扱：農村建設課)

②-1 地域の現状と抱える課題

宮崎県 野尻町

○現状

野尻町は、宮崎県の南西部に位置し、5つの市町村に隣接している。東西約19km・南北約5kmで東西に長く南北に短い地形である。その中央部を国道268号が横断している。この国道は、宮崎市から霧島・屋久島国立公園「えびの高原」、九州縦貫自動車道の小林IC及びえびのICに通ずる道路であり、交通量も多く唯一の重要な観光及び産業用道路となっている。また、小中高生の通学路にも指定されている。しかし、地質は、第4世紀シラス及び泥溶岩質であり、全域にわたって降水等による災害が発生しやすい条件にあり、未改良及び歩道の未整備区間も多く交通事故も多発している。

○課題

左記のような事から、国道268号について、以下の4項目について課題を述べ、改善をお願いする。

1. 平成17年9月発生の台風14号の豪雨では、萩の茶屋付近の土砂崩壊により通行止めとなり、町道が迂回路に利用されたが、幅員が狭小のため渋滞が発生し一般通行車両へ著しい影響を与えた。

防災工事を含めた災害に強い国道作りをお願いする。なお、本年度より、国道の代替道路として、町道東麓石瀬戸線を地方道路整備臨時交付金事業にて改築工事に着手した。早期完成に向けて特段のご高配をお願いしたい。

2. 宮崎市高岡から野尻町に入る坂において、登坂車線が設置してあるが、頂上まで未整備である。高齢者のドライバーが増える中、低速車線から走行車線への路線変更が大変厳しく重大事故を誘発する恐れがある。また、環境的にも暗く感じる箇所で行進時に圧迫感を感じる。

頂上までの登坂車線の完成、交差点部の改良及び環境改善をお願いする。

3. 野尻町には、大淀川の支流にあたる岩瀬川が流れているが、その岩瀬川に1967年に建設された岩瀬ダムによる人造湖「野尻湖」があり、同時に野尻大橋が架けられている。しかし、歩道が未整備で、中高生の登下校時は大変危険な状況にある。

側道橋を含めた歩道橋の検討を行い、早急に設置をお願いする。

4. 国道には、蛇行している区間が多数存在する。その中でも、見通しの悪いカーブの途中に住宅がある者にとっては、国道への出入りが命がけとなっている。

見通しが良好になるよう待避所等の検討を行い、出入り部の改善をお願いする。